

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		入居者様の嗜好や生活歴等を十分に把握出来ていない方もいるため、その方にあった日常生活の過ごし方や創作活動等のレクリエーションの提供の仕方が分からないケースがある。個別性が無く、全員同じ時間の過ごし方になっている。	入居者様の趣味や嗜好に合わせた、個性のある時間の過ごし方を提供する。	家族様が来所した際、生活歴や嗜好、趣味などをヒアリングし、新たなフェイスシートを作成する。情報を共有し、その方にあった時間の使い方やレクリエーションを提供し、さらにその反応を情報共有することで、その人らしい時間が過ごせるよう支援する。	12ヶ月
2		2ヶ月に1回、運営推進会議を行ったり、地域のお祭りに参加したりしているが、まだまだ地域との繋がりは弱いと思われる。地域にほのぼのの存在や役割を知って頂く必要がある。	地域との関わりを増やし、ほのぼのの存在をPRする。	蛭田小学校との繋がりをさらに強くし、小学生が訪問してくれるような関係を作る。また、ほのぼのでの避難訓練に近隣の方の協力を要請したりと様々な形でほのぼのに来て頂けるような仕掛けを作り、存在をPRする。	12ヶ月
3		業務の中でやりっ放しになって物や書類が散乱していたり、やり途中の物が置きっ放しになっていたり整理整頓が出来ていない事がある。入居者様が生活する上で、より気持ちよく快適に過ごして頂くには、日頃から綺麗な環境を意識する必要がある。	衛生で綺麗な施設内環境を作る。	作業が終わればそのままにはせずに片付ける習慣をつける。また、気付いた職員は指摘し合い、時間のある職員が行う等の連携を図って、衛生で綺麗な施設を維持する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月